

各位

会社名 株式会社トランザクション
 代表者名 代表取締役社長 石川 諭
 (銘柄コード 7818 : 東証第一部)
 問合せ先 取締役 北山 善也
 電話 03-6861-5577

第2四半期連結累計期間の業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえて、2019年10月10日に公表いたしました2020年8月期第2四半期連結累計期間の業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

1. 2020年8月期第2四半期連結累計期間の業績予想数値の修正 (2019年9月1日～2020年2月29日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 8,771	百万円 1,080	百万円 1,087	百万円 724	円 銭 24.93
今回修正予想 (B)	8,431	1,134	1,139	746	25.57
増減額 (B-A)	△340	54	51	21	
増減率	△3.9%	5.0%	4.7%	3.0%	
(ご参考)前期実績 (2019年8月期第2四半期)	8,144	1,042	1,056	710	24.83

2. 修正の理由

当第2四半期連結累計期間におきましては、前年度に引き続き、「エコプロダクツ」「ライフスタイルプロダクツ」「ウェルネスプロダクツ」の3プロダクツに注力いたしました。特に、「エコプロダクツ」では、エコバッグの売上は本年7月からの全小売店を対象としたレジ袋有料義務化を、タンブラー・サーモボトルの売上は、プラスチックゴミによる海洋汚染の深刻化を背景として取り組みを強化したことから、前年同期間に比べ大きく伸ばしたことに加え、今年度より成長事業と位置付けているEC事業の売上が好調に推移いたしました。一方、カスタムメイド雑貨製品の一部において、中国での新型コロナウイルス感染拡大の影響から、春節(旧正月)明けに多くの現地サプライヤーの生産が停止し、納品遅延等が発生したことで売上が翌四半期へ変更となりました。

これにより、連結売上高は前年同期間に比べ伸ばしましたが、計画比で未達となりました。利益につきましては、売上高の伸長による売上総利益の増加、原価低減策の実施、販売管理費の計画的支出により、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益がそれぞれ前年同期間に比べ伸ばし前回予想を上回る見通しとなりました。

なお、通期連結業績予想につきましては、現時点において前回予想した内容から変更はありませんが、今後の内外の景気動向や為替相場の動向、新型コロナウイルス感染症による影響等を精査し、通期連結業績予想の修正が見込まれる場合には速やかに開示いたします。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

以上